

施設近況(中辺路百合学園)

「秋祭り」



(栗栖川地区青年団の方々)

台風が過ぎ去った後は、朝晩かなり涼しくなっています。中辺路

は寒暖の差が大きく、そろそろ紅葉も見頃となってきました。

この十月十一日に町内の栗栖川地区にある神社の秋祭りの前触れで奉納芝居の方々が中辺路百合学園に来られました。毎年このことで皆楽しみにしており、来られる青年団の方には有難く感謝の気持ちでいっぱいです。

中辺路にはそれぞれの地区にお宮さんや神社があり、秋のこの時期に祭りを行っています。今回来られた栗栖川の青年団は五十代の方が多く、後継者不足に悩んでいます。他地区はもっと深刻で、今まで続けてきた祭事が人手不足で出来なくなってきました。

当学園のある小皆地区でも祭事の時若い人がいなくて六十代以上の方が世話をされると聞きます。地域に根ざしたずいぶん昔からある色々な伝統行事も激しい過疎には勝てないのでしょうか。二十年後が心配です。学園も来年で三十周年を迎えますが、開園当時からいらつしやる利用者の方もずいぶんお年を召されて、身体的にも弱い方が多くなりました。それでも祭りの時に子供のようにはしゃいでいるのを見ると、少しほっとします。それを見て今以上に頑張らねばと、職員一同明るく仕事に励んでいこうと思っております。

中辺路百合学園施設長 尾崎勝芳

施設近況(百合ホーム)

「夏祭り」

一週連続で大型台風が列島を吹き抜けました。予報が出る度、屋根のといや側溝のつまり等を点検しながら備えましたが、おかげ様で当地方は心配された被害もなくホッとしています。皆様はいかがでしょう。お見舞い申し上げます。

さて、前号で夏祭りの予定をお伝えした通り、八月二十七日にはボランティアの中学生三名の協力のもと金魚すくいやヨーヨー等々に童心に返って楽しんで頂きました。

先日は、秋祭りでもこれも恒例になった、素人芝居のスター数名が施設に来所、寸劇で利用者の皆さんから大喝采をあげながら楽しんでくれました。それもこれも百合ホームが地元の施設として位置づけられている。との思いで感謝の次第です。

秋祭りが過ぎると朝夕の冷え込みが一層と増し周辺の山々の紅葉が日毎に色こくなってゆきます。(泉)



「私もすくうちゃろ」



(スター二人の剣劇)